

常磐每日新聞

外號

發行所 常磐每日新聞社
編輯人 川崎文治
印刷所 福島縣石城郡平町字田町卅六
一〇活版所
福島縣石城郡平町字長橋町

栗原平電氣專務は 水利權放棄を變節

意を決して同盟會幹部出縣
知事に取消を請願

栗原平電氣企業社專務は香坂知事の勸告に基き一度は大瀧發電所の水利權放棄を決意せるも其後變節せるもの、如く未だに言を左右に託して出願書取下げの手續きに及ばざる爲め斯くなる上は斷然香坂知事の英斷に依り許可取消の發令を請願する外なき爲め右の意を体して發電所許可反對同盟會より副會長大森勇、鈴木長三郎、馬目武之助、緑川喜三郎、中島孟、山崎喜正、阿部政右衛門、齋藤寅吉諸氏及び川崎本社社長出縣親しく知事に面接して此事を懇請すべく十日午前二時四十八分の急行を以て平驛を出發せるが果して今後問題が如何に進展すべきかは平三萬町民の最も注目を要する事であつて蓋し町民の總べては今正に死活の分岐點に立つて居るものである
(右出縣委員の一行に本社々長川崎文治參加せる爲め本日は此號外を以つて本紙に替へ本日は休刊とす)

栗原專務變節の理由

而し夫れは餘程の眉唾物

栗原專務の變節せる理由としては水利權放棄に關し、平電氣企業が重役會を招集せる結果『栗原專務は重役會の議に附さずして重要問題たる水利權放棄を知事に對して聲明せるは甚だ專斷の嫌あり』とて栗原專務不信認の叫び起つた爲めこの事が表面の理由であるが其内部には種々の策略が抱藏されて居ると傳へられてゐるから果して右の事實が眞實なるや否やは甚だ疑問とする處である。